

インフォメーション

病院・福祉施設の

看護・介護スタッフ募集

応募

先ずは、お電話ください。
面接時に詳しい勤務体系等
ご説明させていただきます。

勤務時間 ▶ 法人規程による
給与・休暇 ▶ 入職施設により異なる
待遇 ▶ 詳細面談にて説明
勤務先 ▶ 右記の施設

清水会グループ 統括本部
採用係
☎06-6952-5188
〒535-0022 大阪市旭区新森3丁目1-12
URL <http://www.seisukai.net/staff.html>

医療法人 清水会

- 鶴見緑地病院
- おひさま園

社会福祉法人 清水福祉会

- さくら苑
- ケアハウス鶴見緑地
- 城東こすもす苑
- 鶴見緑地苑

Webでも
随時更新中!



編集後記

- ▲ 今号特集のポートレート(人物写真)や入職式などのスナップ写真の撮影を担当した。プロでもないため、いい表情を撮影するのに思案した。
- ▲ 「読ませる紙面」は写真が決め手。100の言葉より、1枚の写真の方が事実を素直に伝えると言う。写真は、紙面の臨場感をつくる大きなファクターだ。
- ▲ 撮影は取材と同時進行だったため、一瞬一瞬を逃さぬよう緊張の連続だった。しかし、その中の何枚かは、シャッターチャンスを活かした写真が撮れた。
- ▲ この写真から、今号記事の話で会話がはずめば嬉しい限りである。(T)

清水会グループ



医療法人 清水会
鶴見緑地病院
〒570-0044 守口市南寺方南通3-4-8
☎06-6997-0101 06-6992-0151



医療法人 清水会
介護老人保健施設 **おひさま園**
〒535-0021 大阪市旭区清水2-1-21
☎06-6952-0101 06-6957-0202



医療法人 清水会
ミズノ胃腸科内科整形
〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6952-5058 06-6952-5311



医療法人 清水会
訪問看護ステーション **トム・ソーヤ**
〒535-0021 大阪市旭区清水2-1-21 (おひさま園内)
☎06-6956-0505 06-6956-0808



社会福祉法人 清水福祉会
介護老人福祉施設 **さくら苑**
〒535-0021 大阪市旭区清水3-15-23
☎06-6957-8008 06-6957-8009



社会福祉法人 清水福祉会
〒535-0001 大阪市旭区太子橋2-8-31
☎06-4254-3003 06-6951-1001



社会福祉法人 清水福祉会
介護保険特定施設 **ケアハウス 鶴見緑地**
〒570-0044 守口市南寺方南通3-4-16
☎06-6998-3003 06-6998-3001



社会福祉法人 清水福祉会
特別養護老人ホーム **城東こすもす苑**
〒536-0016 大阪市城東区蒲生2-2-38
☎06-6933-2002 06-6933-2333



社会福祉法人 清水福祉会
特別養護老人ホーム **鶴見緑地苑**
〒570-0032 守口市菊水通3-16-2
☎06-6995-5005 06-6995-5225

清水会グループ URL <http://www.seisukai.net/>



医療と介護。そして、その未来へ。



Seisui

Contents

02・03 close-up/城東こすもす苑

04・05 close-up/鶴見緑地苑

06 close-up/鶴見緑地病院 山内康雄名誉院長に聞く

07 close-up/話題・ニュース

08 インフォメーション/編集後記/清水会グループ

表紙写真/ハナショウブ(花菖蒲)

2012.05 Vol.04

笑顔のあいさつを心掛ける

——（聞き手・編集部）開苑して8ヶ月になりました。川本施設長、藤原課長代理はじめ職員の皆さんにとっては、全力投球の日々かと思えます。そこでまず、お二人の経歴と「城東こすもす苑」の現況についてお聞かせください。

川本施設長 私は、大阪歯科大学の教授として10年間奉職してきました。定年後に、長年親交のある浜田理事長からお声をかけていただいて、現職に就きました。介護職とはまったく別の世界の人間でしたので、最初は戸惑うことが多くありましたが、ようや



川本 達雄施設長

く馴染んできました。「城東こすもす苑」の玄関に入ると真正面に事務所がありますが、カウンター越しに事務所内が一望できる構造になっています。事務所の前を通られる入居者さまやご家族、あるいは訪問客の皆さまに、笑顔でご挨拶するのが私の一番の仕事だと心得ています。

藤原課長代理 私は「城東こすもす苑」に来てまだ5ヶ月です。幸いなことに、「さくら苑」で長く経験を積ませていただきましたので、その知識をフルに生かして、「城東こすもす苑」の発展に尽くしていきたいと思っています。当苑の現況ですが、全職員が、それぞれの持ち場で、入居者の皆さんに喜んでもらえるような施設にしようと日々励んでいます。

全室個室のユニットケア

——「城東こすもす苑」のパンフレットに「心から喜ばれる生活空間を提供」とあります。その具体的な内容についてお願いします。

川本 まず苑の名称の由来ですが、「城東区の花」は「コスモス」と「モクレン」です。「コスモス」の花言葉は「調和と真心」でして、これは私ども清水会グループの理念にもマッチした花言葉であることから苑の名前に採用されました。「コスモス」は外

来種ですからカタカナで表記しますが、「こすもす」と平仮名にしたことで、大変親しみやすい印象になっています。

藤原 当苑は、全室個室のユニットケア型特養になっています。ユニットケアは、清水会グループとして初めての採用であり、城東区内でも最初のケースです。個人のプライバシー保護の観点から個室タイプが望まれますし、ユニットケアは、家庭の延長と言いますか、「我が家で生活している雰囲気の中で介護が受けられる形」としてこれから主流になっていくのではないのでしょうか。

川本 9人でワンユニットを構成し、職員が付いて介護します。多くの入居者さまを何人かの職員で介護するのと違って、お互いに顔なじみになって、いわば家族のような状況の中で日々の生活を送っていただけます。10人以内ですから、ご近所付き合いのような人間関係も生まれることになります。

「ヒヤリハット」で無事故目指す

——「安心のサポート体制」ということが謳われていますが具体的には。

藤原 一般診療内科が併設されていることが、安心サポートの大きな柱の一つです。診療には内科のドクターが来てくれています。軽い症状であれば苑内の診療所で診察が受けられますし、重篤であれば、「鶴見緑地病院」に搬送することもできます。一般内科の診療所の看板も掲げているので、地域の外来患者さんも受け入れています。診察に来られた近隣の人から大変喜ばれています。

川本 私たちは、施設の運営上の理念として、介護の対象である入居者さまの『安心した生活が第一である』ということを肝に銘じて介護に当たるように



城東こすもす苑スタッフ

介護・医療の両面から安心のサポート体制で、心から喜ばれる生活空間を提供いたします！

徹底しています。同じ事をさせていただいても、それを嫌がる人もおれば、喜ぶ人もいます。人さまごまで。このような違いに敏感に気付いて、冷静に、適切な対応ができてはじめて介護の専門職であると言えるのではないのでしょうか。

藤原 その上で大事なことは、無事故の介護ということです。事故を防ぐために「ヒヤリハット」を心掛けています。介護に当たる中で、ヒヤッとすること、ハットすることがあります。それを放置しないで、細大漏らさず報告してもらい、朝礼で「ヒヤリハット」として職員に報告しています。「ヒヤリハット」の段階では事故ではありませんが、注意を喚起することで事故を未然に防ぐことができます。



藤原 高志課長代理

誠実さと朗らかさを合言葉に

——施設長として、また課長代理として、日々心がけておられることは何ですか。

川本 そうですね、私は信条として、介護の仕事はその根底に入居者さまと職員の人間関係が緊密でなければならないと考えています。そのために、職員には二つの大事なポイントがあると思います。それは、「誠実さ」と「朗らかさ」です。誠実な対応でなければだれも認めてくれません。同時に、朗らかに対応する姿が好感を呼ぶことになると思うのです。明るく朗らかに対応してもらえば、入居者の

皆さまも気持ちよく過せると思います。

藤原 職員が大変若いというのが当苑の特徴です。職員の半数が十代です。それは、苑内の雰囲気をはつらつとしたものになっている半面、基本となる接遇面で、研鑽を積み重ねる必要があるということでもあります。そのために毎朝の朝礼で、挨拶の仕方、法人の理念の確認、お互いの身だしなみのチェックといったことを繰り返し徹底して、一日の仕事をスタートするようにしています。

工夫をこらして苑内生活を充実

——最後に、入居者さまに、「城東こすもす苑」での生活を楽しく過していただくために行っておられる行事等についてお聞かせください。

藤原 苑内での生活に、どう変化を持たせ、夢や希望を持って過していただけるか、常々創意工夫を重ねているところです。外部のボランティアの人に来てもらって行っているのが「歌舞伎」の鑑賞や、「パステル和アート」の実技、「ギター・マンドリン演奏」の開催等です。

川本 「チョコレートフォンデュパーティー」なども喜んでいただきましたね。「城東こすもす苑」は、人でいえばまだ一歳にもならない赤ちゃんの段階ですが、職員一同、一丸となって、明るい快適な生活の場をご提供できるように、誠心誠意努力していく決意です。

特別養護老人ホーム
72 床
ショートステイ
9 床



介護の様子



入居者さまとホットケーキづくり

真心こめた安心のサポート体制で、アットホームな
雰囲気の中、個性を大切にした生活の場を提供！

辻 浅夫施設長

ごあいさつ

去る4月1日付けをもって当「鶴見緑地苑」の施設長に就任致しました辻浅夫でございます。大変な重責ですが、職員の皆さまの協力をいただきながら、入居者の皆さまが心から安心して当苑での生活を楽しく送っていただけるよう専心努力してまいりますので、なにとぞよろしくお願い致します。

また、地域の皆さまにおかれましては、何かとお世話になりますが、ご指導、ご鞭撻賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

入居者さまの気持ちになり考える

——（聞き手・編集部）多くの来賓のご出席を得てオープニングのセレモニーを盛大に挙行了のはつい先日のように思えますが——。

早浪事務長 早いもので5ヶ月が経ちました。その間、職員一同、夢中で走ってきた日々と言えます。ここに来て職員もようやく慣れてきました。部屋も満床になって、形が整いつつあるといった状況です。

左鴻相談員 デイサービスセンターの方徐々に利用者さまが増えてきています。30人が定員ですが、定員がいっぱいになった時のサービス内容を、鋭意考えていく必要があると思います。

——順調に進んできているようですが、職員はもとより、早浪事務長、そしてデイ相談員の左鴻さんも新進気鋭と言ったところですね。抱負等をお聞かせください。

早浪 私は長く病院勤務をしてきましたが、介護関係の仕事は前勤務先（おひさま園）の事務長になったのが初めての経験です。介護職は人が好きでないとできない仕事だと思いますね。どこまでも入居者さまの気持ちになって考えることの大切さを痛感しています。入居者さまから、鶴見緑地苑に入居できてよかったと言っていただけの特養にしていきたいと思います。



早浪 光事務長

左鴻 私はもともと介護職の出身です。ケアワーカーとして仕事を始めました。その後、ケアマネジャーの資格を取得し老健の相談員に。そこから当法人のケアハウス鶴見緑地の立ち上げに携わり、同苑開設と同時に相談員として働いてきました。今まで常に人と人のつながりを大事にして仕事をしてきました。今後ともその心を大切にしていきたいと思っています。

家庭的な環境の中でケアを提供

——「鶴見緑地苑」の特徴とサービス提供の内容はどのようなになっていますか。

早浪 グループでのユニットケアの形をとって運営しています。1ユニット10人で、9ユニットあります。居室（個室）と共同生活室が一つの生活単位で、家庭的な環境の中で個別のケアをさせていただくのが当苑のモットーです。今申し上げたように、ユニットケアというのは、その人のご家庭での生活をそのままこちらに持ってくるという形なので、ハイ起きましよう、ハイ食事の時間ですよ、ハイお風呂に入りましようというような形はユニットでは行いません。



鶴見緑地苑スタッフ

左鴻 つまり、今までのご家庭での生活の積み重ねを継続できるような生活と言えます。たとえば、ご自分の部屋を、趣味を生かして「趣味の部屋」になさってもいいわけです。いろんな物をお持ちいただいて飾ったりして、今までの生活と変わらない雰囲気の中で生活していただけるようにすることが「安心の生活空間」になります。

早浪 それぞれの居室は、どこまでもプライバシーの尊重ができる構造になっていますし、快適な生活をしていただけるに十分な広さを持っています。左鴻相談員から話があったように、デイサービスセンターを併設しておりますので、近隣の方々においにご利用いただいているところです。

施設からさまざまな情報発信

——日々の介護やデイサービスの基本的な対応姿勢についてお話しください。

左鴻 利用者さまの相談ごとには、一言二言で済むような相談もありますし、利用者さまの家庭環境にまで踏み込んでいくものもあります。しかし、相談の内容で判断するのではなく、つながりを大事にする観点から、簡単な相談でもしっかり深くかかわっていくようにしています。困ったことがあれば、「鶴見緑地苑」に相談しようと言ってもらえるように



左鴻 康則デイ相談員

なることを目標に頑張りたいと思います。

——今のお話の延長になりますが、地域貢献について具体的な取組みがあればお話しください。

早浪 まず一つは居宅介護支援事業所での介護教室の開設です。これは、外部の方々にボランティアをお願いするだけでなく、施設から外部に向かっていろんな情報を発信しています。その足掛かりとして始めたのが「家族介護教室」です。ご家庭で介護をされている方々に、介護技術について講習の場を設けさせていただいているのです。現在、30人近い方が来られて真剣に講習を受けておられます。

左鴻 それと居宅介護支援事業所では、「コロツ体操」の開催もあります。これは「転ばぬ先の杖」から出た造語で、いわばお年寄りのラジオ体操のようなものです。毎週1回、20人から30人の利用者の方が集って楽しく体操しておられます。

地域の人も一緒に楽しめる企画を

早浪 まだ開苑1年が経過していませんので、年行事と言ったものは確立できていませんが、昨年末にはクリスマス会を、今年に入っては新年会や節分祭を行いました。今後さらに充実した企画で、地域の皆さまも一緒になって楽しめる行事を考えていきたいと思っています。

左鴻 当苑は、清水会グループとして、初めて守口市に開設した特養の施設です。守口は、昔から住んでおられる方が多い地域です。それだけに、地域に愛されないと発展していかないというか、相談に来ていただけないと思うのです。その意味で、地域の人といかに連携を深めていくかを考えていかなければならないと思います。

デイサービスセンター



デイサービスセンター
30名

申込み受付中！

☎06-6995-5005

特別養護老人ホーム
定員 87 床



介護の様子

居宅介護支援事業所での「家族介護教室」

脳神経外科の診療体制が充実強化 ——気になる症状があればすぐに来院を——

このほど、山内康雄医師が鶴見緑地病院の名誉院長に就任され、脳神経外科の診療が充実されました。そこで、山内名誉院長にご登場いただき、抱負や診療体制の強化内容等について語っていただきました。

週1回診療から毎日診療へ

——（聞き手・編集部）山内先生が名誉院長として常勤されることになり、脳神経外科の診療体制が充実されましたね。

山内名誉院長 今までは週1回の診療でしたが、土日を除いて毎日診療することになりました。「脳神経外科」というと、難しく聞こえますが、要するに「頭医者」と考えていただいて結構です。何か頭に関して気になることがあれば、すぐに来院していただきたいと思います。関西医科大学で40年近く脳神経外科医として診療に携わってきた経験を生かして診療に当たりたいと思います。診療の第一関門と言えるでしょうか。診察の結果、手術等、より高度の医療が必要だと判断すれば、大学病院等を紹介させていただくということになります。

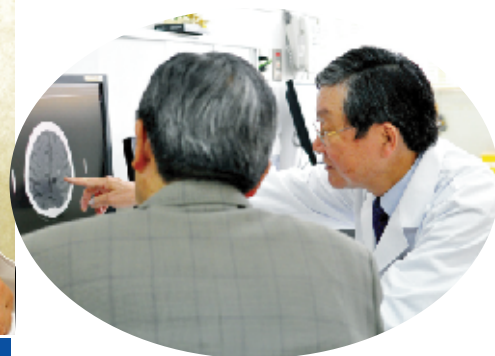


山内 康雄 名誉院長

培ってきた知識をリハビリに生かして

——今までの関西医科大学での診療と、これからの鶴見緑地病院での診療の違いは何ですか。

山内 今までは、大学病院にいて、脳卒中や脳腫瘍の手術後の患者さまで、神経症状が残っている人を、鶴見緑地病院等に紹介してリハビリをお願いする立場でしたが、これからはそうした患者さまを受け入れる立場になります。リハビリを行う中で、病気をどう考えるか、どこが解剖学的に悪いのか、そういうことに関しては、今まで培ってきた知識を生かせるのではないかと思います。



患者さまと診察の様子

病気の要因を日常生活でコントロール

——病院は、発病してしまった人の社会復帰を目指す所ですが、病気にならないための日々の心がけとしては何がありますか。

山内 日常生活の中で、たとえば脳卒中の危険因子として考えられるのは、高血圧、糖尿病、脂質異常症（血液中のコレステロール・中性脂肪などが高い）があります。これらを日常生活の中できちんとコントロールすることが予防につながります。それとタバコは絶対にやめていただくことを訴えたいですね。最近では以前よりも血圧のコントロールが良くなり、脳出血が減ってきている半面、脳梗塞が増えてきています。食事の欧米化に伴って、糖尿病のある人、コレステロール値などの高い人が急増しているのが原因です。ですから、脳卒中を治療するという前に、いかに危険因子をコントロールするかが大事な問題であり、治療よりも発症を抑える努力が大変重要です。

いろんな経験を通し教訓を得る

——長年、脳神経外科医として、医療の現場に立ってこられたわけですが、その間にはいろんな思い出がありそうですね。

山内 そうですね、嬉しかったことはいっぱいありますが、あまり詳しくは覚えていないのです。逆に、問題があったケースとか、ベストを尽くした結果、失敗ではありませんが自分の思う方向に行かなかったケースはよく覚えています。先輩ドクターとディスカッションしても、うまくいったケースは話題になりませんが、問題のあるケースは議論を尽くし、教訓として覚えています。

清水会グループで平成24年度の入職式

4月2日、午前8時半から、平成24年度の清水会グループ入職式が、「さくら苑」の地域交流スペースで行われました。入職式には、清水福祉会の浜田智志理事長はじめ、医療法人、社会福祉法人の施設長・事務長等が出席し、新入職員の前途を祝福しました。入職式は、理事長挨拶、辞令交付、新入職員全員の自己紹介、幹部職員紹介と続き、午前9時にとどこおりなく終了しました。



浜田理事長がお祝いのあいさつ（要旨）



本日は入職式まことにありがとうございます。法人にとりましても、本年もこのように多くの新入職員を迎えられたことは、大変喜ばしいことです。皆さんは、それぞれ施設等で研修を受け、入所されている方々と接してこられたと思います。今日からは、法人の職員として接していくことになります。周りの皆さんを見る目も今までとは違ってきます。どうか、自分が施設の、あるいは病院の「顔」であることを認識していただきたいと思います。法人・グループにとって皆さんはかけがえのない財産であると同時に、法人・グループは皆さんの生きがい、やりがいを成就させる場であると考えています。皆さんの若い力で各職場を盛りたてていただきたいと思います。大いに期待しています。

この春の催し物

3月17日 厳粛に地鎮祭を挙行 ——旭区内に透析施設・サ高住を建設——

さる3月17日午前9時半から、新しく透析施設とサービス付き高齢者住宅（サ高住）となる複合施設の地鎮祭が、旭区新森の建設予定地で、厳粛に営まれました。同地鎮祭には、当法人の両理事長、建設会社の代表、設計事務所の代表はじめ関係者が列席、工事の無事完工を祈願しました。

